

2021年1月6日（水）

公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2020
開催報告

<開催概要>

■ 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2020

【日時】2020年11月16日（月） 10時00分～16時55分

【開催方式】ZOOM ウェビナーによるオンライン開催

【主催】公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム事務局

【共催】統計数理研究所リスク解析戦略研究センター

【プログラム】

<午前の部 10:00-11:30> オンサイト利用に関するチュートリアル

司会：岡本 基（情報・システム研究機構）

開会挨拶

南 和宏（統計数理研究所）

「統計データ利活用センターにおけるオンサイト利用推進の取組」

高部 勲（総務省統計局 統計データ利活用センター）

「調査票情報のオンサイト利用要件解説と利用事例紹介」

阿部 穂日（独立行政法人統計センター 統計情報提供課）

「公的マイクロデータ、因果推論とEBPM：オンサイト施設で国勢調査を利用した経験談」

張 俊超（統計数理研究所）

<午後の部 13:30-16:55> 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム

総合司会：南 和宏（統計数理研究所）

開催挨拶

藤井 良一（情報・システム研究機構）

<第1セッション「統計行政とEBPM」>

司会：南 和宏（統計数理研究所）

「統計行政の最近の動向」

岩佐 哲也（総務省大臣官房）

「統計委員会の公的統計への取り組みと課題」

北村 行伸（立正大学）

「労働政策のあり方と統計整備—EBPM の役割をまじえて」

神林 龍（一橋大学）

「公的統計マイクロデータやアンケートなどを活用した EBPM の取組」

田邑聡子、吉田敦史（長崎県統計課）

<第2セッション「マイクロデータのデータ結合と利用技術」>

司会：白川 清美（一橋大学）

「大規模低質データと小規模高質データのデータ結合による分析」

山下 智志（統計数理研究所）

「モデルに基づくアプローチによる小領域ごとの推定—公的マイクロデータ活用を目指して」

廣瀬 雅代（九州大学）

「マイクロデータの利活用と国際連携」

白川 清美（一橋大学）

閉会挨拶

<参加者数と内訳>

登録区分	人数
大学・研究所	63名
官公庁	31名
民間企業	11名
学生	2名
その他	4名
合計	111名